

みんなで支える森林づくり地域会議の開催状況について

令和2年度

地域振興局	回数	開催日			備考
佐久	第1回	令和2年	7月 30日	(木)	R2 報告済
	第2回	令和3年	3月	書面	
上田	第1回	令和2年	7月 7日	(火)	R2 報告済
	第2回	令和3年	3月 3日	(水)	
諏訪	第1回	令和2年	7月	書面	R2 報告済
	第2回	令和2年	12月 2日	(水)	
上伊那	第1回	令和2年	7月 17日	(金)	R2 報告済
南信州	第1回	令和2年	8月 20日	(木)	R2 報告済
	第2回	令和3年	3月 5日	(金)	
木曾	第1回	令和2年	9月 2日	(水)	R2 報告済
	第2回	令和3年	2月 24日	(水)	
松本	第1回	令和2年	7月 3日	(金)	R2 報告済
	第2回	令和2年	12月 2日	(水)	
北アルプス	第1回	令和3年	3月	書面	
長野	第1回	令和2年	10月	書面	
北信	第1回	令和2年	7月 9～15日		R2 報告済 個別に手交し説明
	第2回	令和3年	2月 17～25日		個別に手交し説明

令和3年度※

地域振興局	回数	開催日		
上田	第1回	令和3年	6月	書面
諏訪	第1回	令和3年	7月 13日	(火)
上伊那	第1回	令和3年	7月 28日	(水)
南信州	第1回	令和3年	7月 7日	(水)
松本	第1回	令和3年	7月 13日	(火)

地域会議の概要等は長野県HPに掲載しておりますので御参照ください。

※ただし令和3年度の地域会議については掲載準備中であり、県民会議に間に合わない場合があります。

【長野県HP】 <https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/chiiki/index.html>

ホーム > 仕事・産業・観光 > 森林・林業 > 長野県森林づくり県民税 > 長野県みんなで支える森林づくり地域会議

令和2年度みんなで支える森林づくり地域会議での主な意見等

【防災・減災】

【佐久第2回】

- ・災害が大型化しているので、防災・減災の事業は重要。一層の取組強化が必要。
- ・想定外の自然災害を考えて里山の整備事業を加速することが急務だと思う。必要なところを調査して、効率的に森林税を活用してもらいたい。

【諏訪第2回】

- ・自然がたくさんあり、災害も多い中で、命を守るライフライン対策に森林税を有効に活用されていると感じた。

【北アルプス第2回】

- ・里山を中心とした、住宅やライフラインに影響を与えるような森林に対する保水力や地山の強度を維持するような間伐整備を続けてほしい。ただし、近年多くなっている作業道については土砂災害を誘発する恐れがあるため、安全な対応が望まれる。

【県民協働による里山整備・利用】

【南信州第2回】

- ・里山整備利用推進協議会の数が一気に増えていることに驚いた（中略）。行政ばかりでなく地域住民も一緒になって取り組むことができれば、事業に一体感や継続性が生まれる。

【北アルプス第2回】

- ・多面的な森林資源の利活用もうたっているが、イベントや環境教育を行う活動のノウハウを地域が持って、森の楽しみを次世代に伝えていくことが大切だと思う。

【北信第2回】

- ・里山整備利用地域が増えてきていることは、山に目を向けてもらう機会としても良いことと思う。

【薪によるエネルギーの地産地消推進】

【佐久第2回】

- ・とても良い取組み。家庭と森林がつながることが期待できると思う。

【北アルプス第2回】

- ・近年、薪ストーブ愛好者が急速に増えている。薪の火は癒しの効果もあり焚火や竈の需要もある。しかし薪の入手には苦労されている人が多い。森林整備や倒木伐採施工場所は移り替わってしまう。入手できる拠点などが見えない。さらなるわかり易い流通の促進をお願いしたい。

【森林づくり推進支援金】

【木曾第2回】

- ・（「森林づくり推進支援金」による緩衝帯整備により）自分の家の裏山の整備が進み、その後、森林税のオレンジの「のぼり旗」が設置されて、目の前で旗を見て森林税が活用されているんだなあと感動した。とてもきれいな景観ができて感謝している。

【観光地の森林景観整備】

【佐久第2回】

- ・R2年度実施箇所、周辺観光施設から感謝の声があった。非常に意義ある事業であり、引き続き実施できるよう予算の拡大を切に願う。

【子どもの居場所の木質化】

【佐久第2回】

- ・もう少し幅広い施設で提案できるようにした方が良いかなと思う。多くの人が集まる商業施設や道の駅等。
- ・親子や家族で触れられる機会も、心理的にも意味あるように思う。

【長野第1回】

- ・県産材のおもちゃの既製品（木の香る製品）の利用しやすいものを広く知ってもらうことが必要ではないか。

【学校林】

【佐久第2回】

- ・信州やまほいくで育まれた知識・感性が自然教育によりその後小中学校でも伸ばせる様に、学校林の利活用と子供達が日常的に利用できるよう整備されると良いと感じた。

【北信第2回】

- ・森林に関心を持ってもらうには、子供の時の経験が大きいので、教育委員会との連携、森の幼稚園などで野外活動的な取組をしてほしい。

【新型コロナウイルス感染症による影響】

【松本第2回】

- ・（森林税事業ではないが）コロナウイルスのためにセミナーがオンラインでの開催になったところ、いろんなところから人が聴講でき、かえって良かったことがあった。（中略）ある程度関心のある人に働きかけるという意味では、だいぶ皆さんがオンラインに慣れ親しんできているので、そういう発信の仕方もあるのでは。

【広報】

【諏訪第2回】

- ・（こどもの居場所の木質化に係る現地視察において）森林税を活用しているという表示はもっと派手にやるべき。焼印などのマークも有効なのでは。

【南信州第2回】

- ・広報については種々、工夫いただいたと思う。ただ、こうした広報に対する県民の反応がわかれば更によい。その観点からすれば、紙媒体だけでなくSNSなどの活用も検討しては。

【北アルプス第2回】

- ・若者では検索サイトに加えてSNSの情報取得が増えており、「置いてある場所に取りに行くもの」から「自分のところに流れてくるもの」にシフトしつつある。同じ情報を得るなら能動的に得るより受動的に得られた方が省力化できることから、SNS文化が浸透していくにつれ今後この流れは益々顕著になっていくと思われる。以上の様態を踏まえて、森林づくり県民税を活

かした事業等を必要とする人に必要な情報がちゃんと届く仕組みづくりと県民一人ひとりがしあわせを実感できるものに使われてほしい。

【森の里親】

【佐久第2回】

- ・大手や企業が私共の里山の為にどんな貢献、支援をしてくれているかもっと広く周知する事が、豊かな森林という素晴らしい財産を持つ県民としての誇りが関心や保全意識に繋がっていかうと思う。

【木曾第2回】

- ・森林の里親促進事業の10月に企業との交流事業に参加し、どんぐり染めの指導をしたところ喜んでもらったことが良い思い出になった。

【その他】

【佐久第2回】

- ・林業に携わる仕事は日本の将来のためにも大切な事だと思う。林業で夢を持ちつつ生活が出来るようなバックアップ体制を、国や県で考えて欲しい。そのために森林税が使われるようにも考えて頂きたい。

【南信州第2回】

- ・森林が荒れていたりすると、リニア開通後、来県が予想される県外客に対し、大きなイメージダウンとなりかねない。また、テレワークを念頭に、都市圏から人を呼び込むことを考えれば、森林整備は非常に重要な意義を持つといえる。

【木曾第2回】

- ・山はあるけど足（手）を入れていない状況で、困ったなと思っていますが、どうしたら所有者に山を管理する意識を持ってもらえるのか難しい課題だと思います。

【松本第2回】

- ・山で働いていて、里山の荒廃をすごく感じている。人が入れない竹林であったり、木が蔓がらみで伐倒するのも危険だったり（する場所が）たくさんあるので、地域の人達が山に入って、里山の資源を自分たちで共有するというのがすごく大事だなと感じている。

【長野第1回】

- ・林業は、「今木材が必要だ」といっても急に増産できるものではないため、どのような社会になっているか、社会にすべきかという理念とセットで考えなければならないところに、難しさとやりがいがあると思う。理念を県民全体で共有できる方法が見つかるとうい。